

## 認定レベル

アセットマネジメントの認定プラクティショナー(CPAM)

## 認定レベル証明書

統合されたアセットマネジメントフレームワーク (AMF) 内の特定のドメインの適用の確立、更新、管理監督の責任を負い、適用と改善を促進するためのポリシー、目的、戦略、戦術、プロセス、手順を準備し、推奨するための知識とスキルを必要としています。

- アセットマネジメント(AM)の認識されたすべての領域、相互依存性、および統合についての認識と理解。
- 統合されたAMFの主要な要件を認識し、理解していること。
- AMのドメインをまたいだコンピテンシー。
- メタ認知スキル。
- リーダーシップとマネジメントスキル：
- 知識やアイデアを様々な相手に伝えることができる。

発行時点では、この認証にはライセンス、立法、または規制上の要件は適用されません。

## 認証の適用

この認証は、組織の重要な事業分野における組織の AMF にとって重要な AMF ドメインの確立、更新、適用の管理監督を担当する実務者（またはそのアドバイザー）に適用されます。重要なことは、このフレームワークは、組織の戦略的目標に情報を与え、それによって情報を与えられなければなりません。

### サーティフィシエント

ドメイン固有のチームの責任者として、またはドメイン固有の専門家として、リーダーとしての責任を負います。

- 方針、戦略、戦術、プロセス、および手順を提案
- AMアプリケーションと継続的な改善を推進

AM のドメイン内で組織の AM 目標に沿って、また、組織の AMF の重要な要素として、組織 AM の目標を達成するために必要とする。

## エレメント

要素は、このコンピテンシーのための認定者の本質的な成果を記述しています。

### 1 AMポリシーの見直しと推奨

### 2 戦略的アセットマネジメント計画 (SAMP) の見直しと開発へのインプットを提供。

## パフォーマンス基準

パフォーマンス基準は、要素の達成度を示すために必要なパフォーマンスを記述しています。太字イタリック体のテキストが使用されている場合、さらに詳しい情報は、要求されているスキルや知識、および/または範囲の説明書に記載されています。パフォーマンスの評価は、エビデンスガイドに沿ったものでなければなりません。

1.1 **ドメインと AMF の文書、およびドメインに関連するポリシー開発に関連するアーテファクトを特定し、確認します。**

1.2 政策 の 選択肢と戦術的な **活動**を特定し、分析し、ステークホルダーと協議して選択します。

1.3 この方針は、 組織が資産を管理する際に採用すべきドメインに関する AM の原則を **明確にしたものです。**

1.4 ドメインに関する方針は 文書化され、採用され、必要に応じて利害関係者に伝達されます。

2.1 **ドメインに関連：関連する AMF 文書と人工物を特定・確認し、変更・改善ニーズと戦術を指摘し、利害関係者と協議し、実施手順を指摘し、実施計画を採択。**

2.2 SAMP の開発/レビューに必要な **ドメイン**入力は、特定され、確立され、信頼性のレベルが決定されます。

2.3 関連する利害関係者の関与を得て、戦略的 AM の文脈と状況に対する**ドメイン**のインプットの**全体的な**評価を行い、確認します。信頼できるドメイン情報の 利用可能性のギャップを 特定し、 **ドメイン**に関連する組織の AM 目標を**組織目標**に沿って設定/見直します。

2.4 AM チームのメンバーとして、または**ドメイン** エキスパートとして様々な AM シナリオの戦略的メリットを検討

- し、利害関係者の意見を取り入れて望ましい AM 戦略を決定し、文書化し、組織としての正式な採用を確保します。
- 2.5 ドメインを代表する AM チームのメンバーとして、またはドメインの専門家として、重要な資産ポートフォリオ/セクターに関連する AM プランの作成をお知らせするために、戦略的概要を作成し、必要に応じて共通のテーマ、整合性、統合、調整の必要性を強調します。
- 3 AMプランのレビューと開発に実質的に貢献する
- 3.1 過去の AMF 文書と人工物の利用可能性と関連内容、意思決定ルール、AM 計画の改善のために特定されたニーズが文書化されています。各 AM 計画の戦略的概要は、それぞれのステークホルダーと協議の上、確認しています。ドメインを含めた AM 計画作成の戦術、スケジュール、責任分担を決定し、合意します。
- 3.2 モデル化、分析、適切なライフサイクルマネジメント戦術の決定、現行の AM プラクティスの評価、改善計画の決定、AM の特定領域に関連する AM 計画の作成は、必要に応じて他の利害関係者や領域の専門家と協議しながら、戦略的概要、適用される AMF のプロセスと手順、及び品質要求事項を遵守して実施する。
- 3.3 AM 計画へのドメイン 入力の質を見直し、対応する。該当する場合には、第三者によるレビューの結果として要求された是正措置に対応。
- 4 AM計画の実施状況をモニタリング
- 4.1 AM 計画の実施に関するドメインの監視・報告義務について合意する。これは、対象となる資産のライフサイクルへの介入 AM 実践改善活動に関連しており、ドメインに適用されます。
- 4.2 リスク、財務および業績管理に関する合意された報告は、ドメインに適用されるものとして行われます。

## アセットマネジメントの認定プラクティショナー (CPAM)

- 4.3 是正措置は、組織の責任者の合意/承認に基づいて実施される。
- 5 AMF文書と人工物のレビューと開発
- 5.1 既存の **AMF 文書**と人工物、ドメインに関連するレビュー、開発、文書化のための手順を確認しています。以前に合意した **AMF 文書**および **Artefact** のドメインに関連する改善ニーズを特定、見直し、指摘します（AM改善計画の文脈の中で）。変更管理を含む実施戦略、必要な **活動**、責任の分担、準備・見直しのスケジュールなどについて、それぞれのステークホルダーと合意しています。
- 5.2 ドメインに関連した開発・改善のインプットを提供し、品質レビュー、ドメイン・分野間の整合性、ステークホルダーからのフィードバックに基づき、必要に応じて調整・修正を行い進捗状況を報告します。
- 6 効果的かつ効率的な計画の実施
- 6.1 AMの領域における活動は、組織の **AM プロセスと手順**、AM 計画、運用計画の関連する側面と利用可能なリソースに沿って、効果的かつ効率的な方法で実施されるように計画されています。計画は、組織が承認した意思決定基準を考慮して作成されます。
- 6.2 AMの領域での活動は、法的要件、法的/規制要件、業界で認められたグッドプラクティスに沿って、組織の**AM プロセスと手順**、AM計画、利用可能なリソースの関連する側面に沿って、熟練した方法で実施されています。
- 7 AM活動の報告
- 7.1 AM 領域の活動は、組織の **AM プロセスと手順**、AM 計画、および利用可能なリソースの関連する要求事項に沿って、関連性のある、タイムリーで正確な方法で報告されます。
- 8 継続的な実践の改善を推進する
- 8.1 AMの領域における継続的な実践改善のニーズと機会は、組織の**AMプロセスと手順**の関連プロセスに沿って、関連する利害関係者と協議し、組織全体の**AMF**への利

- 益を考慮して、AM計画の中で特定され、報告されます。
- 8.2 解決策と実施計画は、AMF全体に対するAMの目的、文脈、意味合い、利点を念頭に置きながら、AMの領域における実践改善ニーズに対処するために、他のステークホルダーと協議して特定されます。これらは、組織のAMプロセスと手順の関連プロセスに沿って報告され、関連する利害関係者と協議します。
- 8.3 AMの領域における実践改善の実施計画が承認され、他の関係者と協議しながら実施されています。
- 9 AMF改善の実施状況を監視
- 9.1 AMのドメインに関連して、(採択されたAM改善計画の中で)AMFの合意された改善の実施における進捗状況と品質を報告するためのプロセスと要件が、それぞれの利害関係者との協議の中で確立され、文書化され、伝達される。
- 9.2 AMの領域における実践改善の質は、合意された手順に従って評価され、必要に応じて是正措置が取られる。進捗状況と品質の報告は、組織のAM担当委員会/責任者に行われます。
- 9.3 是正措置は、組織のAM担当委員会/責任者の指示に従って実施されます。
- 10 AMF全体のドメイン活動の調整と統合
- 10.1 組織のAMFに適用されるAMの各領域からの関連するインプットの整合性と効果的な統合を確保する。これには、統合された整合性の取れたAMプロセスと手順、AMF文書とアーチファクト、SAMP、AM計画、運用計画、報告書の作成における技術分析とモデル化が含まれます。
- 10.2 ドメインに関連するAMの財務側面の適切な適用と解釈を表示しています。

## アセットマネジメントの認定プラクティショナー (CPAM)

- 11 能力のあるリーダーシップとマネジメントを提供
- 11.1 ドメインにおけるリーダーシップと個人開発の機会は、様々な背景を持つステークホルダーに提供されています。
- 11.2 各ドメインの利害関係者がAMの原則をしっかりと理解していることを確認し、それを保証するために、支援的な職場文化が採用されています。
- 11.3 ドメインにおけるプロフェッショナルな判断力を発揮します。
- 11.4 健全な技術的判断力と業界の実務に対する認識と理解がドメインに適用されます。
- 11.5 AMの原則をしっかりと理解していることは、ドメインでのソリューションを確立する上で実証されています。
- 11.6 ドメインの利害関係者は、それぞれのニーズを決定するために関与しています。
- 11.7 効果的なリーダーシップは、関連する場合には、ドメイン内のチームに提供されます。
- 11.8 効果的な文章と口頭でのコミュニケーション能力が発揮されます。

### 必要なスキルと知識

このユニットに必要な必須のスキルと知識とそのレベルを説明します。

#### 必要なスキル：

重要な資産ポートフォリオ（その性質、規模、リスクエクスポージャー）に関連して、組織にとって重要なAMのドメインに関連する以下のコンピテンシーを、認知されたグッドプラクティスに沿ってうまく適用していることを実証したこと。

## アセットマネジメントの認定プラクティショナー (CPAM)

- AMポリシーを見直し、推奨する。
- 戦略的アセットマネジメント計画（SAMP）の見直しと開発にインプットを提供する。
- AMプランのレビューと開発に実質的に貢献する。
- AM計画の実施状況を監視する。
- **AMF文書と人工物のレビューと開発。**
- AMF改善の実施状況を監視する。
- 効果的かつ効率的な計画を実施する。
- 熟練した実装。
- 関連する**AM活動**を報告する。
- 継続的なAM練習の改善を推進する。
- 組織の**AMF**全体で**ドメイン活動**を調整し、統合する。
- 能力のあるリーダーシップとマネジメントを提供します。

### 必要な知識：

1. 役割に関連するAMドメインの分野の最低資格（または職場で開発された認識された知識）
2. 以下の認知（ブルームの分類法の2001年改訂版に基づく、思考、学習、理解）のレベルを満たすアセットマネジメントの最低資格または認定されたトレーニング。
  - 認知の次元：適用
  - 知識レベル：手順
  - マトリックス活動：分類し、実験し、計算し、要約し、解釈する。

これは通常、大学または認定されたトレーニングプロバイダーの学位となりますが、より低いレベルの基礎資格と適切な経験があれば、同等の評価を受けることができます（注：一般的に基礎資格のレベルが低いほど、本基準の要求される知識と技能に沿った実務経験を実証する必要があります）。

3. 認定アセットマネジメントアセッサ試験（WPiAMが定める）の合格点、または同等の合格点（WPiAMが定める）。

注）コアにある認知（思考・学習・理解）のレベル ドメイン  
ディシプリンはそのディシプリンに特有のものであり、必ずしも必要とされるAMレベルと同じではありません。WPiAMとそのパートナーは、通常、申請者に、適切に認定された機関、トレーニングプロバイダー、または政府機関が発行したコアディシプリンの資格、証明書またはライセンスのコピーの提出を要求します。

### 必要な経験：

## アセットマネジメントの認定プラクティショナー (CPAM)

AM環境で5年以上の経験をお持ちの方。

注) 社会人生活におけるAM専門家の役割と責任の大きさ、複雑さ、重要性に応じて活動内容と提供時間は、基礎となる分野とより広範なAMプラクティスを組み合わせた多様な応用によって文脈化される必要があります。

### 必要とされる継続的な専門能力開発

初回認定後、継続的な専門能力開発 (cpd) により、専門家としての能力を維持する。認定資格の役割に沿って関連する業務を実施した結果、最低 50CPD ポイント (年間 10CPD ポイントとして認定されます) と、以下の認定資格 (公称時間あたり 1CPD ポイントとして認定されます) を取得することができます。

- アセットマネジメントおよび業界関連の会議、講演会、プレゼンテーション、研修コースへの出席および参加。
- メンタリングの提供
- ボランティア委員会への参加。

### レンジステートメント

範囲ステートメントは、全体として認証レベルのコンピテンシーに関連しています。それは、パフォーマンスに影響を与える可能性のある様々な作業環境や状況を可能にします。パフォーマンス基準の太字斜体の文言は、以下に詳述します。

熟練していることを意味します。それぞれの習熟度に応じた専門的な資格を保有していること。このような資格の例としては、認定技術者、技術者、技術者、業者、またはメンテナンス、信頼性、メンテナンス計画またはスケジューリング、プロジェクト管理、会計、エンジニアリング、建築、空間計画、または経営科学などの様々な分野の専門家が挙げられます。

ドメイン・サブジェクトの等価性。グローバル認証スキーム (GCS) では、ドメインは、Global Forum for Maintenance and Asset Management (GFMAM) のランドスケープにおける「サブジェクト」 (またはサブジェクトのグループ) に相当します。

ドメインはまた、特定の資産タイプまたはクラス、重要資産、または施設、ネットワーク、またはプロセスラインなどの空間的に離散的な資産グループの戦術的なAMを指す場合があります。

活動の構成： 組織が次の事項について管理または意思決定を行うために利用するツール、プロセスおよびプラクティスの適用。



## アセットマネジメントの認定プラクティショナー (CPAM)

- 法基準：
- リスク、パフォーマンス、財務管理。
- アセットの性能、容量、利用、臨界性。
- アセットの可用性、信頼性、保守性、サポート性。
- アセットの取得、作成、運用、保守、廃棄。
- 環境および社会的影響。
- 安全。
- コスト/手頃な価格/支払う意思があること。
- 資産価値と減価償却。
- AMFの性能。
- ワークプレイスのリソーシング、コンピテンシー、文化、そして
- 代替技術。

### AMのプロセスと手順：

財務、リスク、業績管理の統合モデルと技術、運用管理プロセス、ライフサイクルとデータ管理モデル、役割と責任、AMポリシー、AM目的、SAMP、AMPを効果的に実施するために組織が採用しているフォーマットとサポートシステム。

### AMフレームワーク (AMF)

組織がAMを実施するために採用している管理システムで、AMプロセスと手順、AMポリシー、AM目標、SAMP、AMP、戦略的、戦術的、運用的な管理システムなどが含まれます。

### AMFの文書とアーチファクト

以下のようなものがあります。

AMFの実装に必要なドキュメントとアーティファクト。AMFの文書とアーチファクトは、個別のものであっても、AMの構成要素であってもよいが、他の組織の管理システム、プロセス、慣行の関連部分を集約した等価なものに引き込むことで明らかになる場合もあります。例えば、組織全体の文書管理システムツールは、AMFの一部であってもよいです。

運用計画には以下のようなものがあります。

AMF内の各活動を実施するために組織が採用した活動、運営手順、リソース。

## アセットマネジメントの認定プラクティショナー (CPAM)

### メタ認知能力とは

「考えることを考える」能力。この文脈では、メタ認知スキルの実証された適用とは、組織のメタ認知、つまり組織が特定の方法で考え、行動したり、特定のプロセスや慣行に従ったりする方法や理由を理解し、それに応じて管理することです。学習組織として最も適切なプロセスと実践の評価と選択、適切な文化の開発と維持、パフォーマンス管理、運営環境の適切な変更の推進、目標設定、実施、レビュー、分析、意思決定のための適切な方法論、プロセスと実践の決定は、メタ認知的思考の側面を構成します。

## エビデンスガイド

エビデンスガイドは評価に関するアドバイスを提供しており、パフォーマンス基準、必要なスキルと知識、および範囲ステートメントと合わせて読まなければなりません。

このユニットの能力を実証するために必要な評価と証拠のための重要な側面。

以下のようなエビデンスが不可欠です。

- 総合的な実務経験の性質と期間の概要を要約したものの（AMでは最低5年）。
- 資産ポートフォリオの性質、規模、重要性、それぞれのAMの役割など、AMの業務経験の性質、日付、期間の概要をまとめました。
- 登録された専門家による申請者の経験と貢献/役割の裏付け。
- コンピテンシー評価を支援するための主要な資料の提出：例えば、各AMドメインに関連する**活動の実施計画**、**ドメインのパフォーマンス要求事項の記載と遵守状況の確認**、**状況報告書**、**AM実践改善計画とドメインの実施状況報告書**など。
- 倫理規定へのコミットメント
- **ドメインの資格・経験の証明**-（注意）世間で知られた**正式な資格を取得することは、知識を習得するための一つの経路であるが**（コンピテンシーベースのトレーニングの場合は、スキルも）、**WPiAMは、低レベルの基礎資格と適切な経験が、より高いレベルの資格と同等であることを認識していること。**
- **AMの資格・経験を証明するもの**-（注：認知された**正式な資格を取得することは、知識を習得するための一つの経路であるが**（コンピテンシーベースのトレーニングの場合はスキルも）、**WPiAMは、低**

## アセットマネジメントの認定プラクティショナー (CPAM)

レベルの基礎資格と適切な経験が、より高いレベルの資格に相当することを認識していること。

- 認証後 3 年間の各期間については、各期間終了後 6 カ月以内に、継続的な専門能力開発の概要を提出し、特定の要請があれば、28 日以内に裏付けとなる証拠を提出すること。

評価アセスメントと具体的なリソース：

評価は、資産ポートフォリオの性質、規模、重要性を示す証拠へのアクセスを確保しなければならない。

評価の方法：

実践的なスキルや知識を評価するために、さまざまな評価方法が用いられます。この指定に該当するのは以下の通りです。

- 申請者から提出されたアーティファクトのレビュー、参照資料として申請者の宣言と文書作成における申請者の具体的な役割を確認する。
- 査定者によって要求された問い合わせ/明確化に対する申請者の応答のレビュー：および
- 面接（任意-コンピテンシーの確認や明確化のために必要な場合）。

ガイダンス情報：評価

業界セクター、職場、職務との関連性を考慮した全体的な評価が推奨されます。

実践的な評価が使用されるすべてのケースでは、必要な知識を評価するためにターゲットを絞った質問と組み合わせで行われます。

アセスメントのプロセスと技術は、候補者の言語能力とリテラシー能力、および実行される作業に適したものでなければならない。

候補者が提出されたエビデンスを共同開発したチームの一員であった場合、その役割は明確に定義されていなければ

## アセットマネジメントの認定プラクティショナー (CPAM)

ればならず、職場での確認や評価者による面接、または知識と能力を証明するためのその他の検証が必要となる場合があります。

応募者は、成熟した AM 環境で運用している場合もあれば、形成段階にある環境で運用している場合もあります。申請者が活動している組織の成熟度は、申請者がそれぞれの**活動**をどのように行ってきたかに影響を与えることは必至であり、それゆえに提出された証拠も考慮に入れる必要があります。評価されるのは申請者の能力であり、組織の成熟度ではありません。

資格の国別解釈、及び必要に応じて本仕様書に記載されているその他の要件については、**WPiAM** が確認します。